

Excel 土木積算支援CANAL

操作マニュアル

【 付 録 】

AutoCAD作図支援 Civil

標高値計測旗上げ

20170807

目次(インデックス)

準備作業

チュートリアルデータのダウンロード ……

チュートリアル

作業手順 ……

Step 1: チュートリアル図面を開く ……

Step 2: 図面プロパティの設定 ……

Step 3: DL値の入力 ……

Step 4: DL位置の指定 ……

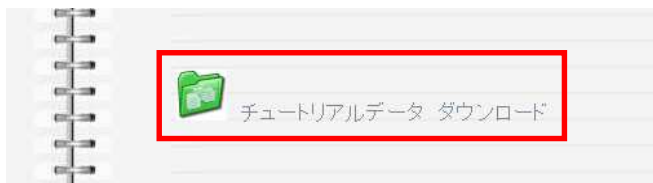
Step 5: DL情報の登録 ……

Step 6: 測定する点を指定 ……

Step 7: 標高計算 ……

Step 8: 標高値を旗上げ ……

■ 準備作業

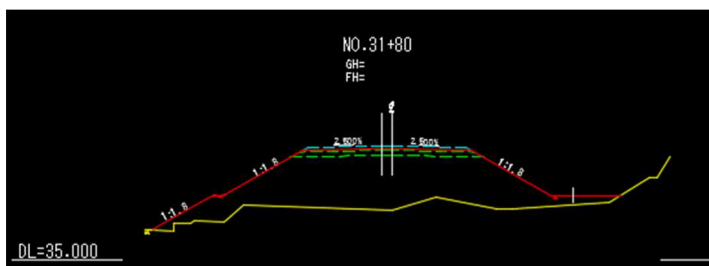


【参考URL】 <http://civilcomjapan.blog.fc2.com/blog-entry-57.html>

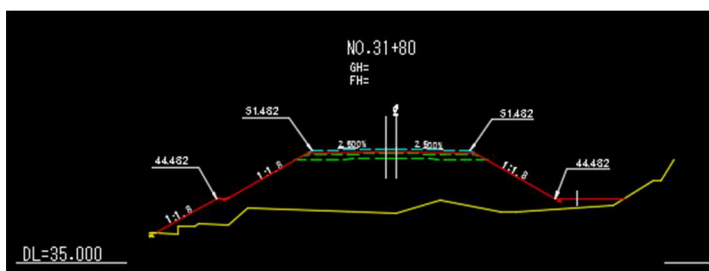
■ チュートリアル

DL線と計測点の位置関係から標高値を計算し、旗上げを行います。

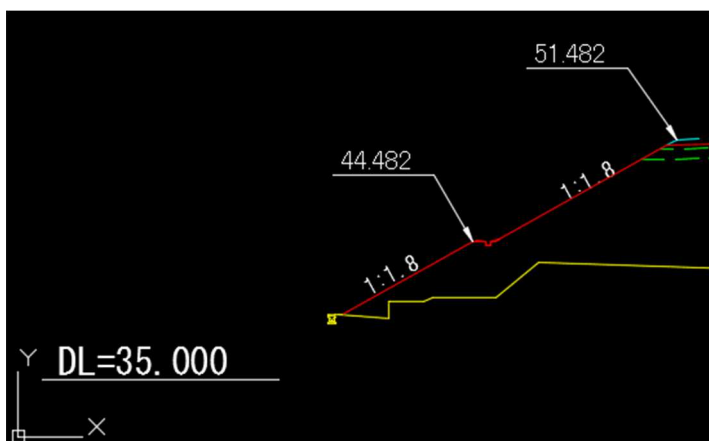
< 計測前 >



< 計測後 >

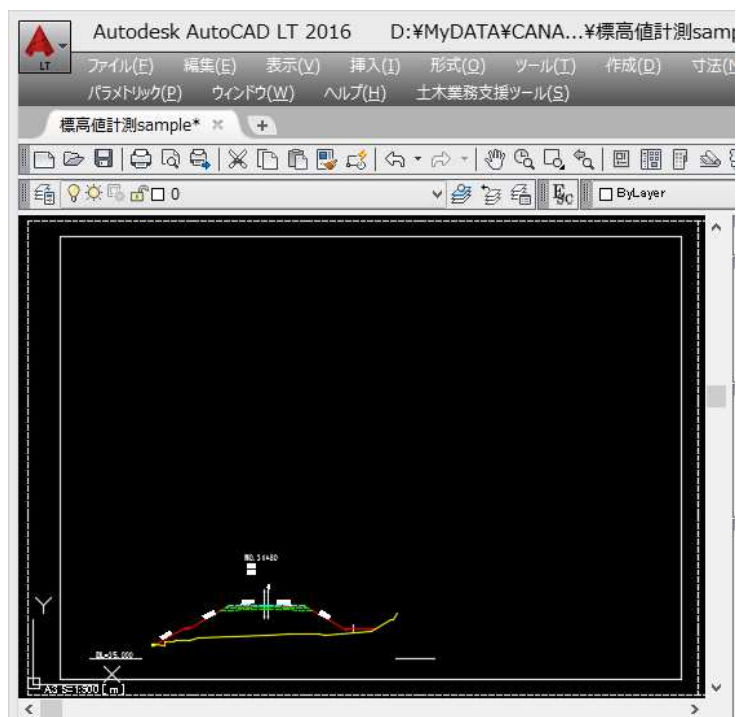
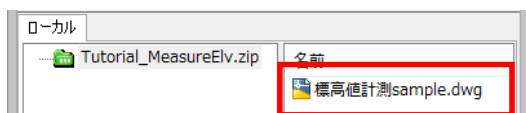


< 拡大図 >



作業手順

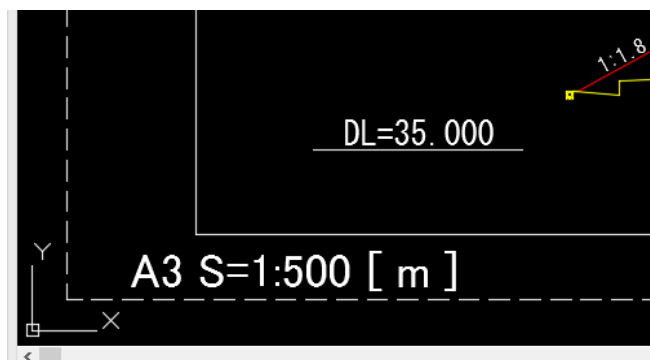
Step 1 チュートリアル図面を開く



Step 2 図面プロパティの設定

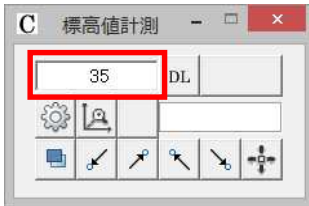


図面を確認

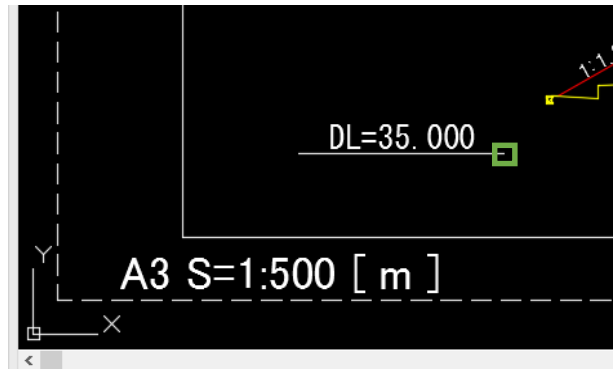
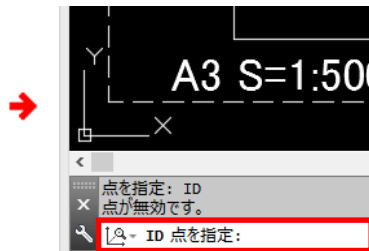
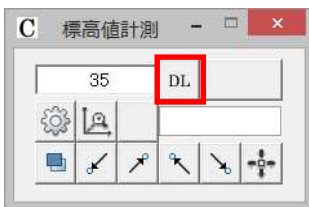


当該サンプル図面は、作図単位[m]、図面縮尺[S=1:500]にて作成されています。

Step 3 DL値の入力

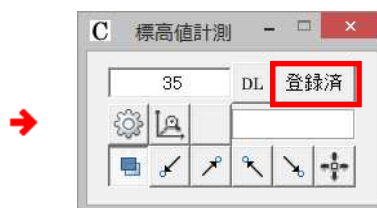
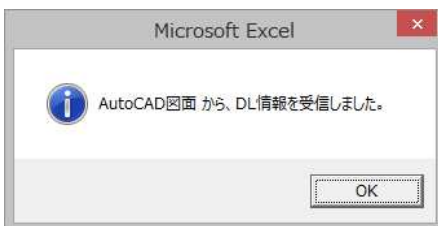
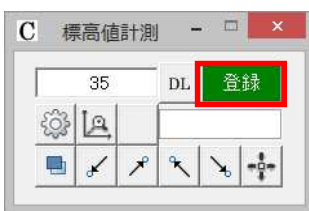


Step 4 DL位置の指定



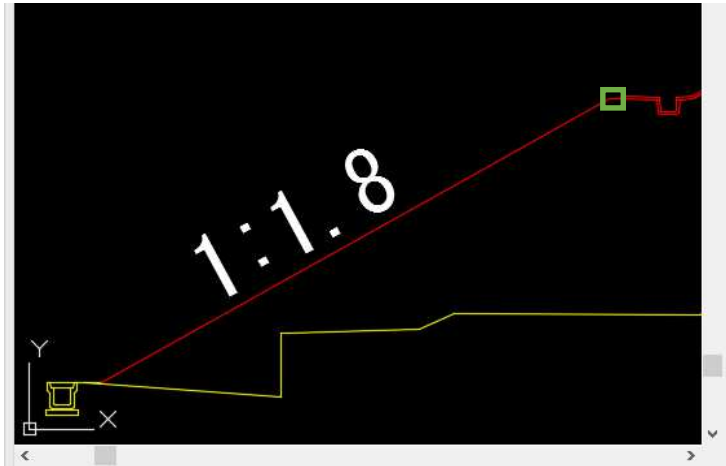
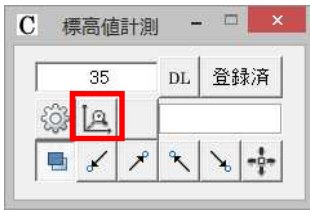
Oスナップ端点モードで、DL線の端部をクリックします。

Step 5 DL情報の登録



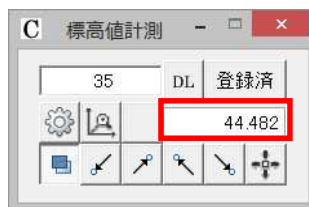
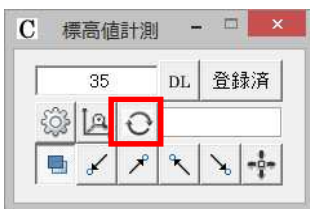
表示が「登録済」に変わります。

Step 6 測定する点を指定



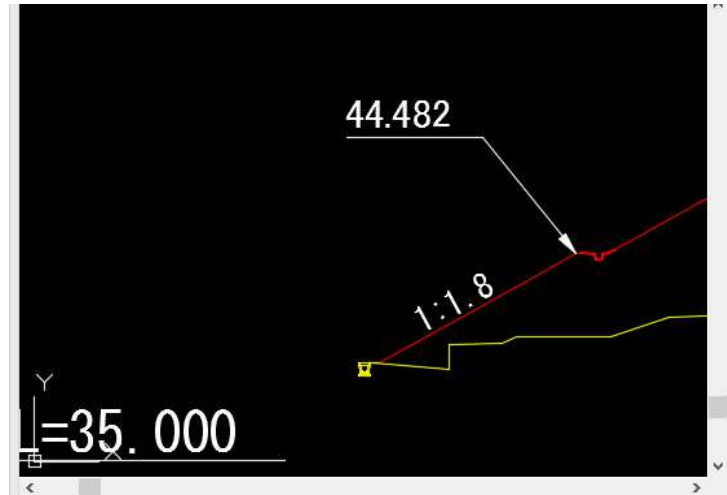
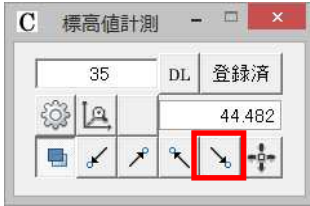
○スナップ端点モードで、法肩をクリックします。

Step 7 標高計算



計測した点の標高値が算出されました。

Step 8 標高値を旗上げ



Case 1 別の断面で作業を繰り返す

→ **Step 3** に戻る

Case 2 同一断面で別測点を計測する

→ **Step 6** に戻る

